

# ねりま



# 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.72

練馬区の  
地域活動団体などを  
毎月紹介しています!



## 今月の紹介団体 \* \* \* \* \*



2面

南高松憩いの森ファンクラブ  
田川 凱士(たがわ よしお)さん



3面

これからっとラボin練馬  
田口 陽子(たぐち ようこ)さん



## つながるカレッジねりま

## オンライン公開講座の 聴講生を募集します

つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。

カリキュラムの中から、次の講座をYouTubeにより公開します。



### 「地域活動とコミュニケーション」

【日時】5月20日(土) 10時~12時

【内容】「地域活動とは何だろう」「私」を出発点として、地域活動の多様な特徴や、活動時のコミュニケーションについて考えます。

【講師】志寒 浩二(おたがいさまの会 代表)

【定員】30名(先着順)

【申込み】①講座名 ②氏名 ③電話 ④住所 ⑤メールアドレスを、5月16日(火)までにポータルサイト(<https://www.collegenerima.jp>)・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ



【問い合わせ】つながるカレッジねりま事務局 協働推進課カレッジ担当係

TEL: 03-5984-1613 E-mail: KYODOSUISHIN04@city.nerima.tokyo.jp

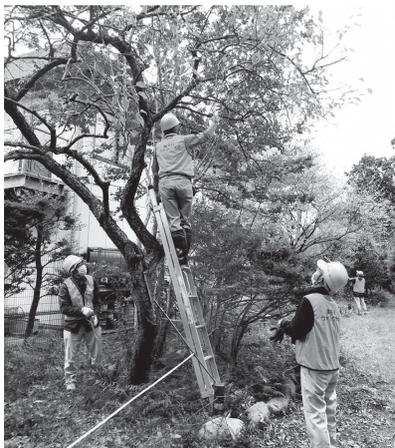
## 地域の森をみんなで守り育てよう!

### 南高松憩いの森ファンクラブ



会長の田川 凱士さん(右)と  
広報担当の高橋 幸子さん

“憩いの森”とは練馬区内に残る樹林地などを所有者から借り、区民に開放している場所。現在、区内には45か所の憩いの森があり、そのうちの1つ「南高松憩いの森」(高松2-14)を守り育てる活動をしているのが「南高松憩いの森ファンクラブ」です。ここは、184本の樹木が茂り、17種のコケが生息しているという、区内で



ウメの特性や剪定のポイントなどについて講義を受け、いざ実技演習!

も希少な森です。

活動のきっかけとなったのは、会長の田川さんが、みどりのまちづくりセンター(以下、まちセン)主催の

自然体験イベントに参加したこと。定期的に通ううち、まちセンから「一緒に管理してみませんか?」と提案され、挑戦してみることに。剪定をやってみたい、ハーブや花に興味がある、コケを育てたい…など、それぞれの希望やアイデアを持ちより、まちセンの支援を受けて2016年7月にクラブが発足。現在は独立し、自主的に活動をしています。

活動日は月3回、土曜の午後。剪定や草取り、落ち葉掃きなど当番制の定期清掃が2回と、季節ごとの定例活動を1回行っています。定例活動ではタケノコの収穫、コケや藤の手入れ、ウメの剪定、巣箱の設置など季節の作業を行ったり、講師を招き自然について学ぶ勉強会を開いたり。各々が興味のある活動に参加しています。

また、春と夏の年2回、自然の



会員の中には子どもたちの姿も。清掃や活動に励んでいます!

中でのネイチャーゲームやセミの羽化観察など、地域に向けたイベントも開催しています。

「コロナ禍以前は学童クラブの子どもたちが清掃を手伝ったり、森に遊びに来たりしていました。地域の子どもたちとの交流を私たちも楽しみにして

いるので、早く再開したいですね」と、田川さん。

現在、会員数は39名。大半が区内在住ですが、実は近所に住む人は少ないそう。今後は地元の町会や子どもたちにも参加してもらえよう、積極的に働きかけていきたいと広報担当の高橋さんは言います。

「地域の人たちにもっと知ってもらい、“森のファン”が増えたら嬉しいです。そして、森が地域の宝物になるようにみんなで守り育てていきたいと思っています」

緑化活動やまちづくり、ボランティアなどに興味のある方はぜひご連絡ください!

#### ■南高松憩いの森ファンクラブ

会長：田川 凱士

TEL：080-6595-3486

(月・火・水の午前のみ)

メール：minamitakamatsumorifan@gmail.com

## 地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

### ■社会福祉法人 松の花基金「知的障害者向け助成金」

【対象団体】 営利を目的とせず、知的障害児(者)の福祉向上のために活動する団体

【助成金額】 1件あたりの上限額：定めはないが、案件の性質や内容などを勘案のうえ総額500万円の範囲内で決定する

【応募期限】 2023年8月31日

【関連URL】 <http://matsunohana.jp/>

【問い合わせ】 〒103-0004 中央区東日本橋1-7-2 長坂ビル  
社会福祉法人 松の花基金 TEL：03-5848-3645

### ■社会福祉法人 木下財団「障がい者福祉助成金」

【対象団体】 原則として障害者支援を行う非営利の民間団体であり、グループホーム、地域活動支援センター、就労継続支援A/B型などの社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)、またはそれに準じた事業を行う、規模の小さな団体やNPO法人等の団体

【助成金額】 1件あたりの上限額：25万円

【応募期間】 2023年5月1日～6月5日

【関連URL】 <http://www.kinoshita-zaidan.or.jp/subsidy/>

【問い合わせ】 社会福祉法人 木下財団 事務局

TEL：03-6222-8927 E-mail：info@kinoshita-zaidan.or.jp

## 楽しみながらエルダー世代と地域をつなぐ

### これからっとラボin練馬



代表の田口 陽子さん(中央)とメンバーの橋詰 由美子さん(左)、石橋 博子さん(右)

「これからっとラボin練馬」は、練馬区で行われている様々なイベントや地域活動に参加し、エルダー世代(40~60代)に向けて情報発信をしている団体です。未来の「これから」と、宝石の重さを表す単位の「カラット」、研究室の「ラボ」を掛け合わせたネーミングだそうです。

代表の田口さんは、子育てが一段落した時、その後の人生に不安を感じたと言います。子どもや

学生、高齢者を対象とした支援や情報は多くあるものの、エルダー世代を対象としたものはあまりなかったからです。

「私と同じように、どのようにセカンドライフを送っていいのかわからず、孤独を感じたり、生活や健康に不安を抱えている人が多いのではないかと思います。その不安を解消するためには、地域とつながることが大切だと考えたのです」と田口さん。

自分たちが地域で得た団体やイベントなどの情報を発信し、エルダー世代が地域活動を始めきっかけをつくりたい。そんな思いで、

つながるカレッジねりまで学んだ仲間と、2022年6月から活動を始めました。メンバーが地域で集めた情報は団体のホームページで公開しています。

団体では情報発信だけでなく、講座やワークショップの企画・運営も行



自分史ミニブックを作るワークショップの様子

っています。イベント内容は、自分たちの興味のあること、やりたいことをもとに決めており、昨年

12月にはパネル展示やエルダー川柳、自分史づくりのワークショップを、3月には講師を招きセルフボディケア講座を開催しました。

「地域でのいろいろな体験を通してネットワークを広げ、多くの団体とコラボしながら活動していきたい」と話すメンバーの皆さんは、

はつらつと輝いています。その姿がエルダー世代に元氣と勇気を与えているのではないのでしょうか。

今後はSNSでより効果的な情報発信を行い、YouTubeにもチャレンジしていきたいとのこと。夢は、セカンドライフの楽しい幕開けを応援したいという思いから、60才を対象とした「還暦式」を開催することだそうです!

エルダー世代と地域をつなげるといふ新しい視点で活動を続ける「これからっとラボin練馬」。今後の活躍に注目していきたいですね。

#### ■これからっとラボin練馬

代表：田口 陽子

メール：korelabo55@gmail.com

ホームページ：https://www.korekaratto-lab55.fun



セルフボディケア講座では、むくみを取るリンパマッサージを行い、健康維持のヒントを学びました

#### ■ニッセイ財団「地域福祉チャレンジ活動助成」

【対象団体】活動実績があり、次の2つの要件を満たしている団体

- ①助成テーマにチャレンジする意欲がある団体
- ②他の団体・機関、住民組織等と協働で活動する団体

【助成金額】1団体あたりの上限額：400万円

【応募期限】2023年5月31日

【関連URL】<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02.html>

【問い合わせ】ニッセイ財団 高齢社会助成事務局  
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル4階  
TEL：06-6204-4013(10時~17時)  
E-mail：kourei-fukusi@nihonseimei-zaidan.or.jp

#### ■独立行政法人 国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成金」

【対象団体】社団法人、財団法人、NPO法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど青少年教育に関する活動を行う民間団体

【助成金額】1件あたりの上限額：全国規模 600万円/都道府県規模 200万円/市区町村規模 100万円

【応募期間】2023年5月1日~6月27日

募集説明会を開催します。詳しくはホームページをご覧ください。

【関連URL】[https://www.tvac.or.jp/res/attach/daily/50903\\_1.pdf](https://www.tvac.or.jp/res/attach/daily/50903_1.pdf)

【問い合わせ】独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 〒151-0052 渋谷区代々木神園町3-1  
TEL：0120-579-081(フリーダイヤル 平日9時~17時45分)  
E-mail：yume@niye.go.jp

# 令和4年度練馬つながるフェスタを開催しました!(終了しました)

令和4年6月から令和5年3月にかけて、区内6か所の会場で練馬つながるフェスタを開催しました。全6回のイベントを通して、約2,000名のお客様にご参加いただき、大盛況のイベントとなりました。

また、区内8か所の図書館で町会・自治会やNPO法人、ボランティア団体など区内で活動する地域活動団体を紹介するパネル展を行いました。ご参加いただいた団体の皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



つながるフェスタin関町



つながるフェスタin大泉



つながるフェスタin練馬



パネル展の様子

「練馬つながるフェスタ」とは、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の日頃の取り組みを「見て! 聞いて! 知って!」たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。

**特別  
オンライン番組  
公開中!**

3月4日に収録・生配信を行った「特別オンライン番組」のアーカイブ動画を公開しました。令和4年度の練馬つながるフェスタの各会場の様子や、参加した団体のトークなどがご覧いただけます。



【問い合わせ】 練馬区立区民協働交流センター TEL: 03-6757-2025 FAX: 03-6757-2026  
E-mail: KYODOSUIISHIN02@city.nerima.tokyo.jp

## 練馬区立区民協働交流センター (つながる窓口)

区民協働交流センター (つながる窓口) では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

**【事前予約が必要な相談内容】**

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること

専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。

facebook

<https://www.facebook.com/Nerimakoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索

twitter

[https://twitter.com/kyodo\\_nerima](https://twitter.com/kyodo_nerima)

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中  
<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL: 03-6757-2025 年中無休 9時~22時 (12/29~1/3は休業)  
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL: 03-3577-5666